	(	〒 )		
事業場名	所在地			
		(電話番号		)
	1.7	」、記入者職		
労働者数(うち振動工具使用労働者数)	<b>\</b> (	人 氏名		
□に√を付けるとともに、( )に記入願いま	す。また、別紙	に振動工具ごとの保有	台数を記入願います。	
工具の選定基準				
■ 低振動であるなど振動工具の選定は適じ	刀であるか。	lt	こし しししえ	

## 振動作業の作業時間の管理

1 振動業務と振動業務以外を組み合わせて、振動業務に従事しない日を設けているか。

いいえ

はい 2 日振動ば〈露量A(8)に基づ〈作業管理

(1) 日振動ば〈露量A(8)を算定しているか。

している

していない

「していない」場合は、「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」から日振動ば〈露量A(8)を算定します。

(2) 日振動ば〈露限界値(5.0m/s²)を超えないよう措置を講じているか。

講じている

講じていない

「講じていない」場合は、振動ば〈露時間の抑制、低振動の振動工具の選定等の措置を講じます。

(3) 日振動ば〈露対策値(2.5m/s²)を超えないよう対策を講じているか。

講じている

講じていない

「講じていない」場合は、(2)と同様の措置を実施するよう努めます。

(4) 日振動ば〈露限界値に対応する1日の振動ば〈露時間(振動ば〈露限界時間)が2時間を超えるか。

2時間以下 2時間を超える

- 1「2時間以下」の場合は、2時間以下の当該時間以下の振動ばく露時間としてください。
- 2 「2時間を超える」場合は、「2時間以下」の振動ばく露時間としてください。
- 3 「2時間を超える」場合であっても、以下の ~ の要件の全てを満たす場合には2時間を超えることができますが、この場合でも4時間以下としてください。

適切な整備・点検を実施している。

使用する個々の振動工具の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」を点検・整備の前後を含めて測定・算出している。

振動ば〈露限界時間をの測定・算出値の最大値に対応したものとしている。

- 4 上記 ~ 以外の場合は、1日の振動ば〈露時間を2時間以下として〈ださい。
- (5) 「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」が把握できない場合

類似の振動工具の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」を参考に算出した振動ば〈露限界時間が2時間を超えるか。

2時間以下

2時間を超える

- 1「2時間を超える」場合は、2時間以下のできるだけ短時間としてください。
- 2 作業の性格上、同一の作業者が同一現場で連続して作業を行うことが不可欠である場合でかつ日振動ば〈露量が5.0m/s²を超える場合には、1週間の作業の計画を作成した上で、振動ば〈露を1日8時間5日(週40時間)として算出し、日振動ば〈露量A(8)を5.0m/s²以下とする1日の振動ば〈露許容時間としてもやむを得ないこととしています。
- (6) 作業の計画を作成し、書面等により労働者に示しているか。

はい

いいえ

(7) 1日に複数の振動工具(チェーンソーを含む。)を使用するか。

使用しない

使用する

「使用する」場合は、個々の振動工具(チェーンソーを含む。)ごとの「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」等から日振動ば〈露量A(8)を算定して〈ださい。

3 ピストンによる打撃機構を有する工具を取り扱う業務(金属又は岩石のはつり、かしめ、切断、鋲打及び削孔に限る。)について、一連続の振動ば〈露時間をおおむね10分以内とし、かつ、5分以上の休止時間を設けているか。

はい

いいえ

いいえ

4 3以外の工具を取り扱う業務について、一連続の振動ば〈露時間を概ね30分以内とし、かつ、5分以上の休止 時間を設けているか。

はい

			の措置								
1	-		作方法	Li in isl	LI			= .			
	(1)	ハン			外の部分	は狩たな	いようにして	_ `			
			はいい		142年15	- 3女 / <del>1</del> 日 2 -		ハいえ Ctenさかいで	シンナン・		
	<b>(2)</b>						9、かつ、独	〈押さないで	(/52/1		
	(2)	<b>○</b> \石		)作業(削引	,		_	とがわナエフ	3/ロ+±し テい	7	
				がねを手で		_		たがねを手て		_	
										ハてください。	<b>L.</b> .
			ト回る	の削扎、捌	日舎〉5m	、軽くひし	を囲けでき	るたけ刀を扱	いて上具を	保持してくだ	₹ <i>\</i> /°
2		於法									
	(1)	筋の		持続する作	業方法						
				ナている			j	避けていない	١		
	(2)	振動		身体に伝れ	つる作業方	法					
				ナている				避けていない	١		
	(3)	振動			を吸い込む	ごおそれの	Dある作業方				
				ナている			j	避けていない	١		
	(4)	振動.	工具の					_	_		
				- ム等によ					1ない		
	(5)	被加		•			用研削盤を	取り扱う業務			
				- クレストで		いる		<u>してし</u>	1ない		
				異定及び管			1. A-A- 1	1 S <del></del> -1:			
たカ	<b>いね</b> 、	カッタ			内、被加」	上物の性料	大等に適合し			にものを使用	しているか。
_ ^_			<u> はし</u>					L1L1;	え		
				に係る措置			> 1. + <del></del>	<i></i>	_,,_,		
1	圧刀	]計を			近に取り	「け、定め	られた空気	E内で使用し			
		<b>-</b>	はし		==	· · <del>- ·</del> · -		را ال ال <u> </u>	_		
2	配管	営に、道			取り付け.	、必要にん	心じて圧縮ら	≦気のドレンを		いるか。	
L 14			はし	, \				U1U1;	え		
点検			#us#		- +V <del></del>	+ ** — — ·	+4-		14/ 1 . <b>L</b> 1A +	F- /	- 1546
	振重	九1县	を制造	子笠がいな	4500H <del>-32</del> 5					奴母し合に見	見の状能に
	-			日子儿.秋秋	以武功自言	善寺で示し	」た時期・万	法により定期	的に点検・蟄	置備 ひ市 に取	スクングの日に
	保っ	ている	か。		X武功 <b>台</b> 章	善寺で示し	ンた時期・力			置備 ひ市 に取り	2071/\&IC
		ている	か。 はし		X 武 四 百 ī	善寺で示し	ンた時期・力	法により定期 いい:		管開 0 市 に取	
振動	工具	ている <b>管理</b>	か。					L1L1;	Ž		X 07 1/1.05 IC
<b>振動</b>	<b>工具</b> 選任	ている <b>管理</b> : E状況	か。 <u>はし</u> 責任者		ĭ	選任してい	13	(1) (1)	え 選任していた	îl I	2004)/Justice
振動	工具選出職務	ている <b>管理</b> E状況 8の実	か。 <u>はし</u> <b>責任者</b> 施状況	, 1	j J	選任してい 実施してい	13 13	U1U1;	え 選任していた 実施していた	II	
<b>振動</b> 1 2	工具 選任 職務	ている <b>管理</b> E状況 용の実 振動コ	か。 は <b>責任者</b> 施状況 具管理	, 1	j J	選任してい 実施してい	13 13	U1U1;	え 選任していた 実施していた	îl I	
<b>振動</b> 1 2	工具 選任 職務	ている <b>管理</b> E状況 8の実	か。 はは 責任者 施状況 具管理	八里責任者の	j J	選任してい 実施してい	1る 1る の点検・整備	いい <u>;</u> う 請状況の定期	え 選任していた 実施していた j的な確認及	II	
<b>振動</b> 1 2	工具组織系统	ている 管理 E状況 係の実 振動工	か。 はは <b>責任者</b> 施状況 具管理 定	,1 <u>関責任者の</u> めている	〕 職務は、!	選任してい 実施してい 振動工具	1る 1る の点検・整体 ;	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない	え 選任していた 実施していた I的な確認及 い	ない ない びその状況の	)記録です。
<b>振動</b> 1 2	工具 選信 職務 標準	ている 管理: E状の実 振動工 で 定 の 記 の 記	か。 <b>はは</b> <b>責任者</b> 施状況 <b>更</b> こいない	,1 <u>関責任者の</u> めている 1」場合は、	戦務は、 <u>1</u> 振動工具	選任してい 実施してい 振動工具	1る 1る の点検・整体 ;	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない	え 選任していた 実施していた I的な確認及 い	II	)記録です。
振動 1 2 <b>作業</b>	工具行選に	ている 管理 任状の動脈の 定業 で に 作業	か。 <b>はは</b> <b>責任者</b> 施状況 <b>更</b> こいない	,1 <u>関責任者の</u> めている	戦務は、 <u>1</u> 振動工具	選任してい 実施してい 振動工具	1る 1る の点検・整体 ;	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない	え 選任していた 実施していた I的な確認及 い	ない ない びその状況の	)記録です。
振動 1 2 作業 設	工選職標準なりの整理を	ている 管状の動脈の 定業 の動物 の の の に の は の は の は に に り の り の り の り の り の り の り に り に り に	か。は日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には	,1 <u>関責任者の</u> めている 1」場合は、	戦務は、 <u>1</u> 振動工具	選任してい 実施してい 振動工具	1る 1る の点検・整体 ;	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない	え 選任していた 実施していた I的な確認及 い	ない ない びその状況の	)記録です。
振動 1 2 作業 施記	工選職標準なな整想	ている 管状の動物 定業 備設 の動物 の が標 の が標 の が の が に の が に の が の が に の が の が に の が に の に の	か。は日本には日本には日本には日本には日本には日本には日本には日本には日本には日本に	八 関責任者の かている い場合は、 体的に定る	戦務は、 職務は、 振動工具 めてくださ	選任してい 実施してい 振動工具 息の取扱い	1る 1る の点検·整体	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない	え 選任していた 実施していた I的な確認及 い	ない ない でその状況の なだその状況の	)記録です。
振動 1 2 作業 施記	工選職 標 な <b>か</b> 休(1)	てに発送している。では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位では、一位	か。 <b>責任者</b> 施具 ていた で で で で で に で た に た た に た た た た た た た	八 関責任者の めている 1」場合は、 体的に定る おける暖房	職務は、 振動工具 かてくださ	選任してい 実施してい 振動工具 の取扱い い。 憩室の有	1る 1る の点検·整備 7 1及び整備の 無	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない D方法並びに	え 選任していた 実施していた 的な確認及 い に作業の方法	ない ない なびその状況の 生について、 途 無	)記録です。
振動 1 2 作業 施記	工選職 標準 の休(1) (2)	て管状の動物 定業 備設屋屋 かく 単沢実工 かい を 横段屋屋	か。 は者 施具 て準 等作作 大管 定 な具 にに	ル を 動 でいる い 場合は、 体 か は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	職務は、対象のある。	選任 してい 実施動工具 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	Nる Nる の点検·整備 N及び整備の 無 措置の有無	いい <u>;</u> 請状況の定期 定めていない D方法並びに	え 選任していた 実施していた 別的な確認及 い に作業の方法 有有	まい ない なびその状況の 生について、 遊 無 無	)記録です。
振動 1 2 作業 施 1	工選職 標準 な <b>を</b> な <b>を</b> (1) (2) (2)	て管状の動物 「作り 屋外 屋外 「 作り  一	か。 <b>は者</b> 施具 て準 等作作 と な は で は で は で は で り に り に し に し に し に し に し に し に し に し に	八 型責任者の かている い場合は、 体的に定じ おけまる が手の が手の が手の が手の が手の が手の が手の が手の	職務は、 振動工 かてくださ のあ備、か かのあんかか	選任してい 実施してい 表施工具 の取 の取 のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	Nる Nる の点検·整体 N及び整備の 無 措置の有無 合する措置を	いい: 就状況の定期 定めていない の方法並びに	え 選任していた 実施していた 別的な確認及 に作業の方法 有有しいで	まい まい なびその状況の 生について、 達 無 無 す。	)記録です。
振 1 2 <b>作 施</b> 1 2 <b>类 没</b> 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	工選職 標 な を え (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	て 管状の動物 「作り になって 管状の動物 定業 備設屋屋 )が の動物 備内外 (濡	か。 <b>任</b> 状質 に に に に に に に に に に に に に	八 <b>計</b> 責任者の かている いるはに は は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	職務は、 振動工 かてくださ のあ備、か かのあんかか	選任してい 実施してい 表施工具 の取 の取 のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	Nる Nる の点検·整備 N及び整備の 無 措置の有無	いい: 就状況の定期 定めていない の方法並びに	え 選任していた 実施していた 別的な確認及 い に作業の方法 有有	まい ない なびその状況の 生について、 遊 無 無	)記録です。
振 1 2 <b>作 施</b> 1 2 <b>类 没</b> 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	工選職   標	て管状の動物 「作機」屋屋1)が支に、 理況実工 め精 備内外 (濡給)	か。 <b>任</b> 状管 定 な で な で な で で で で で で で で で で で で で	八 <b>計</b> 責任者の かている いるはに は は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	職務は、 振動工 かてくださ のあ備、か かのあんかか	選任してい 実施してい 表施工具 の取 の取 のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	Nる Nる の点検·整体 N及び整備の 無 措置の有無 合する措置を	いい: 就状況の定期 定めていない の方法並びに	え 選任していた 実施していた 別的な確認及 に作業の方法 有有しいで	まい まい なびその状況の 生について、 達 無 無 す。	)記録です。
振 1 2 <b>作 施</b> 1 2 <b>类 没</b> 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	工選職標の休(1) を見防が	て管状の動物 「作り 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」	か。 <b>任</b> 大管 定 に で で で で で で で で で で で で で	八 型責任者の かている い場合に定 がは は がは がは がは がは がは がは がは がは	職務は、対象の表別では、対象のなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのないのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのなのないのなのなのないのない	選手版 まい 憩つ温服 ひまっと ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひま	1る 1る の点検·整体 1及び整備の 無 措置る措置の するための記 させている	いい: 就状況の定期 定めていない の方法並びに	え 選任していた 実施は確認及 い に作業の方法 有有いで 望ま 使用	ない ない ででその状況の 生について、 適 無 無 す。 無	)記録です。
振 1 2 <b>作 施</b> 1 2 <b>类 没</b> 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	工選職 標 の休(1) (2 衣具)防防 で 整恵 (1) (II の 折音	て管状の動物で、生物は一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では	か。 <b>任</b> 米皇 て準 等作作 2 れ <b>及</b> 具 具 にに ほ <b>後</b> (90d)	八 関責任者の かている い場合に定 が場合に定 がまたるは、 は がまるは、 は がまるは、 は の の の の の の の の の の の の の	職務は、対象のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	選実版 見い 憩つ温服 では 取い 窓暖を乾 使使 伊伊	1る 1る の点検·整体 1及び整備の 無 置る措めの有置で するたている 1させている	いい: 諸状況の定期 定めていない の方法並びに 語ずることか 設備の有無	え 選任していた 実施は確認及 い に作業の方法 有有いで 望ま 使用	ない ない なびその状況の 生について、 適 無 無 す。 無	)記録です。
振り 1 2 <b>作 施</b> 1 2 <b>選</b> 1 2 2 <b>選</b> 1 2 2 <b>3 2 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 </b>	工選職   標	て管状の動物で、「作り、「関う」、「関う」、「関係」では、「関係」を関係する。「対象」では、「対象」を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	か。 <b>任</b> 米皇 て準 等作作 2 れ <b>及</b> 具 具 にに ほ <b>後</b> (90d)	八 関責任者の かている い場合に定 が場合に定 がまたるは、 は がまるは、 は がまるは、 は の の の の の の の の の の の の の	職務は、対象のでは、ないでは、対象のでは、ないでは、ないでは、ないのでは、ない、はない、は、はない、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	選実版 見い 憩つ温服 では 取い 窓暖を乾 使使 伊伊	1る 1る の点検·整体 1及び整備の 無 措置る措置の するための記 させている	いい。 就状況の定期 定めていない の方法並びに ごう法がることが 設備の有無 でください。	え 選任していた 実施な確認の で で で で で で の 有有い有 使使	ない ない ででその状況の 生について、 適 無 無 す。 無	)記録です。
振 1 2 <b>作 施</b> 1 2 <b>类 没</b> 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	工選職   標	て管状の動物で、「作り、「関う」、「関う」、「関係」では、「関係」を関係する。「対象」では、「対象」を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	か。 <b>任</b> 米皇 て準 等作作 2 れ <b>及</b> 具 具 にに ほ <b>後</b> (90d)	八 関責任者の かている い場合に定 が場合に定 がまたるは、 は がまるは、 は がまるは、 は の の の の の の の の の の の の の	職務は、工だの設か場の方面を対している。これでは、工だのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、工だのでは、のでは、工だのでは、工だのでは、工だのでは、工だのでは、工だのでは、工だのでは、工	選 選	1る 1る の点検・整体 1及び整備の 無措置る措のの 高させている し、使用させ	いい: 就況の定期 定めていない の方法並びに ご 講ずることか 最備の有無 でください。 末実	え 選任していた ましていた まがな の 有有い有 使使 ま ま で ささ	はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない	記録です。
振	工選職標の休((2 衣具)防防作の具件を対象を表し、) (胴の)折音消失	て管状の脈の 定業備設屋屋1が支保保者施い。 理況実工設め精構内外(濡給護護に	か。 <b>任</b> 米皇 て準 等作作 2 れ <b>及</b> 具 具 にに ほ <b>後</b> (90d)	八 関責任者の かている い場合に定 が場合に定 がまたるは、 は がまるは、 は がまるは、 は の の の の の の の の の の の の の	職務は、対象のでは、ないでは、対象のでは、ないでは、ないでは、ないのでは、ない、はない、は、はない、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	選 選	1る 1る の点検·整体 1及び整備の 無 置る措めの有置で するたている 1させている	いい。 就状況の定期 定めていない の方法並びに ごう法がることが 設備の有無 でください。	え 選任していた ましていた まがな の 有有い有 使使 ま ま で ささ	ない ない ででその状況の 生について、 適 無 無 す。 無	記録です。
振	工選職標 なの休(12 衣具)防作の健康を関する を を である (1) (月) の が に で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	て管状の動物の一定業備設屋屋10が支保保者施設の重況実工設め、標準内外、濡給護護に断り	か。 任 状管 にな には では では では では では では では では では で	八 世責任者の か は か は り は り は り は り は の は の は の は の は の は の は の は の	職務 振 が の設か の の の の の の の の の の の の の	選 選	1る 1る の点検・整体 が が整備の 調査を の措めの でででで ででで が が が が が が が が が が が が が が が	いい: 就況の定期 定めていない の方法並びに ご 講ずることか 最備の有無 でください。 末実	え 選任していた ましていた まがな の 有有い有 使使 ま ま で ささ	はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない	記録です。
振	工選職標の休(12 衣具)防作の健1	て管状の動物。「作りは屋屋1)が支保保者施・診りていて、東沢実工設・め標・備内外(濡給護護に 断のの	か <b>任</b> 状管 で	1 計 計 計 計 計 計 計 は に で は に で は に で は に で は に で は の は の る る る る る る た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	職 勝 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	選 選	1る 1る 1る の点検・整体 1及 び整備の 無措するとせせ使 の措めいささせせ使 対し、 開始 にいさ には 対し、 には がし、 には がし	いい: 就況の定期 定めていない の方法並びに ご 講ずることか 最備の有無 でください。 末実	え 選任していた ましていた まがな の 有有い有 使使 ま ま で ささ	はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない	記録です。
振	工選職   標	て管状の動物。「作りは、「食り、長子養性を持ている。」では、「食」を発見して、「食」を発見して、「食」を発見して、「食」を発見して、「食」を発見して、「食」を表して、「食」を含まれて、「食」を食まれて、「食。 これて、「食。 これて、「食」を食。 これて、「食。 これて、「食。 これて、「食。 これて、「食」を食。 これて、「食。 これて、「食。 これて、 これて、 これて、 これて、 これて、 これて、 これて、 これて、	から 佐 川東 で	八計上上上上で上で上で上で上で上ででとでののの <t< td=""><td>職 振て の設 D 場 D 防 実 数数</td><td>選実版 見い 憩つ温服 目 しし 取 の房供欠 使使支 作 (() 有の無燥 用用給 業</td><td>18 18 18 00 点検・整体 が整備の 置るた ででで の措め いいさ がでする させせ ( がでする はいいさ はいいさ ( がでする) がでする はいいさ ( がのがった)</td><td>いい:                    </td><td>え 選手 と は は ま は で は で に は で に は の の 有有い有 使使 で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない</td><td>記録です。</td></t<>	職 振て の設 D 場 D 防 実 数数	選実版 見い 憩つ温服 目 しし 取 の房供欠 使使支 作 (() 有の無燥 用用給 業	18 18 18 00 点検・整体 が整備の 置るた ででで の措め いいさ がでする させせ ( がでする はいいさ はいいさ ( がでする) がでする はいいさ ( がのがった)	いい:                   	え 選手 と は は ま は で は で に は で に は の の 有有い有 使使 で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない	記録です。
振	工選職   標	て管状の動の 「作性・関節を発表して、では、 一定 は、 ここでは、 こにでは、 ここでは、 こにでは、 こにではいいにでは、 こにではいいにではいいにではいいにではいいにではいいにではいいにではいいにではい	から 施具 に	八計上上上上で上でのの <t< td=""><td>職</td><td>選美振 さい 憩つ温服 具 管 任施動 の。 室暖水を を で でてて具 扱 の房供燥 使使給 第 ((B)</td><td>1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10</td><td>いい: 就状況の定期 定めていなびに ご方法 ずることか でください。 ででは、</td><td>え 選任していた ましていた まがな の 有有い有 使使 ま ま で ささ</td><td>はい はい さびその状況の 法について、適 無無無無いない でせていない 作業終</td><td>記録です。</td></t<>	職	選美振 さい 憩つ温服 具 管 任施動 の。 室暖水を を で でてて具 扱 の房供燥 使使給 第 ((B)	1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	いい: 就状況の定期 定めていなびに ご方法 ずることか でください。 ででは、	え 選任していた ましていた まがな の 有有い有 使使 ま ま で ささ	はい はい さびその状況の 法について、適 無無無無いない でせていない 作業終	記録です。
振り 一作 一体 一体 一体 一体 一体 一种	工選職   標	て管状の脈の 定業 備設屋屋1が支保保者施 診1222221222222222222222222222222222222	から 佐 川東 で	八計大大大 <t< td=""><td>職 ・</td><td>選美振 さい 憩つ温服 具 管 任施動 の。 室暖水を を で でてて具 扱 の房供燥 使使給 第 ((B)</td><td>1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10</td><td>いい:                    </td><td>え 選手 と は は ま は で は で に は で に は の の 有有い有 使使 で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない</td><td>記録です。</td></t<>	職 ・	選美振 さい 憩つ温服 具 管 任施動 の。 室暖水を を で でてて具 扱 の房供燥 使使給 第 ((B)	1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	いい:                   	え 選手 と は は ま は で は で に は で に は の の 有有い有 使使 で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	はい はい さびその状況の 法について、適 無無 す。 無 せていない	記録です。
振り 一作 一施 一一保 一一体特 動 1 2 工業 一 設 1 2 工護 1 2 工操列 共和 第二章	工選職標 の休(12 衣具)防作の健 1234事(具任務・・漢字 は整恵))(朋の折音等 実 原第第第管後:	て管状の動物。「作性の関係を表現である。「作性の関係を表現である。」では、「大きなないでは、「大きなないでは、「大きなないでは、「大きなないでは、「大きなないでは、「大きなないでは、「大きなないでは、 では、「大きなないでは、「大きないでは、「大きないでは、「大きなないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	から 佐 米里 で 等作作 2 れ 及具 関防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	八計上上上上で上でのの <t< td=""><td>職 ・</td><td>選美振 引い 憩つ温服 具 後任施動 のい。 室暖水を を 管措しし工 取 の房供燥 使使給 作 ((Bのののののののののののののののののののののののののののののののののの</td><td>1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10</td><td>いい: 就状況の定期 定めていなびに 講備の有無 できれ。 でできまれ。 ででするこ無 でできまれる。 ででするこれ。 ででする。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 ででする。</td><td>え 選実的 に は は に に は で に は で に は の 有有い有 使使 ) ) )</td><td>はい はい さびその状況の 法について、適 無無無無いない でせていない 作業終</td><td>記録です。</td></t<>	職 ・	選美振 引い 憩つ温服 具 後任施動 のい。 室暖水を を 管措しし工 取 の房供燥 使使給 作 ((Bのののののののののののののののののののののののののののののののののの	1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	いい: 就状況の定期 定めていなびに 講備の有無 できれ。 でできまれ。 ででするこ無 でできまれる。 ででするこれ。 ででする。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 ででする。	え 選実的 に は は に に は で に は で に は の 有有い有 使使 ) ) )	はい はい さびその状況の 法について、適 無無無無いない でせていない 作業終	記録です。
振り一作作 一施 一一保 一一体特 十二字一 動 1 2 工業 一一設 1 2 三護 1 2 工操作 殊 一 "全	工選職標 の休(12 衣具)防作の健1234事で 具任務: 準 ない整恵))(胴の)折音等実 原第第第第後生	て管状の動物の一定集構設屋屋1分支保保者施・約1939選措教の理況実工設・め標・備内外、濡給護護に断次次次次置置で	から 施具 この で 等作作 2 れ 及具 具防 まままな 1 で まままの 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	八世か ) 体おおか業用B護所所ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	職 振り の設か場 ア防 実 数数数寸 かい の設か場 作音 実 数数数寸 まれ また また は エだ る は なん また また また は また は また は また は また は ないの で は に は また また は また また は かいの で は に は また また に は かいの で は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	選美振 引い 憩つ温服 具 後 して 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	1る 1る 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	いい: は状況の定期 でかける でかける でがいるですがいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	え 選手 と は は ま は で は で に は で に は の の 有有い有 使使 で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	はい はい さびその状況の 法について、適 無無無無いない でせていない 作業終	記録です。